



# タウンと



## 『体験型観光を実施』

5月24日から25日にかけて、『大崎町の大地の恵みと先人の知恵を学ぶツアー』と銘打った、体験型観光が実施されました。

これは、町外の方々に、大崎町の豊かな自然を存分に楽しんでいただくこと、大崎町体験観光推進

同士会が企画したもので、鹿児島市などから、3組10名の方々が参加されました。

一日目は、崎園集落の安田静夫さんの農園で、完熟トマトの収穫をし、それを使ったパスタや野菜サラダで昼食会をしました。

午後からは、塗木集落の脇田輝雄さんの庭先で、今ではあまり見られなくなった『わらじづくり』に挑戦しました。

参加されたみなさんは、「素晴らしい体験ができました。また、参加したいです。」とおっしゃっていました。



## 『下持留子供育成会がごみの不法投棄の防止を呼びかけ』



下持留子供育成会（鳥越伸一会長）が、あとを絶たない空き缶などのごみの不法投棄に対処するため、啓発活動の一環として看板を作り、ごみが目立つところに7箇所設置しました。

看板を立てた付近は、ごみの量が減り、早くも成果が表れ、子供たちも大変喜んでいるそうです。

みなさんごみは持ち帰るように心がけましょう。



## 『大丸小でスポーツチャンバラ』

大丸小学校では、体育の授業の一環として、スポーツチャンバラを取り入れています。この競技は、エアソフトというやわらかい剣（小太刀）とお面を付けて戦う剣術です。

今回は、小学4年生、12名を対象に行われました。指導者として、鹿児島県スポーツチャンバラ協会の会長を務める、井川繁樹さんが指導に見えられました。児童たちは、入念に準備体操をし、剣の扱い方などを教わった後、試合を行いました。みんな今回が初めてということもあり、楽しそうに汗を流していました。

井川さんは、「曾於郡では、まだ、知られていないので、大崎町から普及していきたい。」とおっしゃっていました。

